令和８年度　小樽市立忍路中学校　学力向上改善プラン

１　生徒の実態

令和７年度全国学力・学習状況調査では、国語、算数において全国平均を上回ることができた。

しかし、国語では「書く」「読む」の場面において、例を挙げたり段落の役割を意識したりするなどの抽象度を変えて読んだり書いたりすることに課題が見られた。

数学では、基本的な計算問題はできるが、文章から題意を汲み取って考えたり、説明したりすることに課題が見られた。

家庭学習や生活習慣については、学校評価生徒アンケートでは端末を使った毎日の家庭学習について肯定的回答が５８%、端末を使った個別最適な学びについての肯定的回答が６７%、小樽スマート７の約束を守っているについて２５%、本をほとんど読まない生徒が７５%であった。家庭学習の定着と生活習慣の改善を進めるために長期休業明けの生活リズムチェックを夏冬に実施している。

２　学年ごとの定着目標（数値目標）

＜国語科＞

学年	定着目標
１年	・２月復習テスト平均５５点（R７：６１点） ・ほっかいどうチャレンジテスト平均正答率全道以上
２年	・２月復習テスト平均５５点（R７：４７点） ・ほっかいどうチャレンジテスト平均正答率全道以上
３年	・復習テストＡＢＣ平均５５点（R７：６６点） ・全国学力・学習状況調査の正答率を全国以上

＜数学科＞

学年	定着目標
１年	・２月復習テスト平均５５点（R７：４６点） ・ほっかいどうチャレンジテスト平均正答率全道以上
２年	・２月復習テスト平均５５点（R７：５２点） ・ほっかいどうチャレンジテスト平均正答率全道以上
３年	・復習テストＡＢＣ平均５５点（R７：５５点） ・全国学力・学習状況調査の正答率を全国以上

＜学習・生活習慣（家庭学習等）＞

学年	定着目標
１年 ２年 ３年	・生徒学校評価で端末を活用した個別最適な学びでの肯定的な生徒の割合７０%。（R７：６７%） ・保護者学校評価で規則正しい生活をしている１００%（R７：１００%） ・生活リズムチェックで家庭学習時間１時間以上と答える生徒の割合６０%（R７：６７%）

３　目標を達成するための具体的な方策

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

①放課後・長期休業中のサポート学習の充実
②朝読書・朝学習実施・チャレンジテストの実施
③安心して学ぶことができる場や自己決定の場の保障
④学期毎の確認テストと誤答への取組
⑤クロームブックの週内課題への取組

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

①各種研修会への参加と環流
②校内研修の充実、研究授業の実施と検証
③自己存在感の感受を高めるための授業改善

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

①家庭学習の取組や生活習慣をコーディネートする力を向上させるための生活リズムチェックシートの活用
②学校評価アンケートによる実態把握と指導改善

４　実施計画

年月日	計　画　内　容
Ｒ８年 ４月	・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテストの実施（前年度問題） ・学び方の指導充実・ ○Ｒ８全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査　自己採点 ○標準学力調査実施（第２学年）
５月	・朝読書・朝学習の実施(通年) ・放課後サポート学習の実施(通年)
６月	・保護者懇談による家庭学習や生活リズムについての把握とアドバイス ・学力向上改善プランの見直し
７月	○標準学力調査結果分析 ・学校評価の実施 ・学校評価の分析と改善策の検討 ・長期休業中のサポート学習の実施 ・過年度「確認テスト」の実施 ・チャレンジテスト（１学期末問題）の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
８月	○Ｒ８全国学力・学習状況調査結果分析 ・朝読書・朝学習の実施(通年) ・放課後サポート学習の実施(通年) ・生活リズムチェックシートの活用 ・保護者へ学校評価分析報告
９月	○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善 ・３年復習テストＡ
１０月	・３年復習テストＢ ・３年復習テストＣ
１１月	・公開研究授業の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施・分析
１２月	・学校評価の実施 ・学校評価の分析と改善策の検討 ・チャレンジテスト（２学期末問題）の実施 ・長期休業中のサポート学習の実施
Ｒ９年 １月 ２月	・放課後サポート学習の実施(通年) ・全国学力・学習状況調査過去問題の分析結果の共有 ・１，２年復習テスト ・当該年度「確認テスト」の実施
３月	○学力向上プランの評価 ○新学力向上改善プランの作成

５　評価方法

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

①サポート学習の参加人数、実施前後のテストによる成果の分析
②実施率、学習態度の観察記録、結果の推移、誤答分析など
③振り返り、授業観察記録、教職員自己評価、生徒アンケート
④誤答の再テスト・補充学習の実施率と改善率、誤答原因の分析
⑤課題提出率、内容の到達度評価、生徒保護者アンケートの分析

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

①参加人数、研修後の実践報告書の提出、研修内容の校内共有
②交流授業の実施回数と参加状況、授業後の振り返りの記録、授業改善への具体的な反映
③授業観察記録、教職員自己評価、生徒アンケート

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

①家庭学習スプレットシートの分析、検証
②生活リズムチェックシートの見取りによるアドバイス